



**KANTHAL®**  
Part of Sandvik Group

発熱材  
メーカー

マッスルスーツ®の“正しい”装着でより効果を実感！  
これからの時代にあった職場環境づくりを実践中

**SANDVIK**

**KANTHAL®**  
Part of Sandvik Group

サンドビック株式会社  
カンタルカンパニー 佐倉工場  
(千葉県佐倉市)

代表者 : 代表取締役社長 マイケル・エネバリ  
本社所在地 : 兵庫県神戸市中央区磯上通2丁目2-21  
工場所在地 : 千葉県佐倉市大作2-11-3



佐倉工場のスタッフ

### カンタルブランドは電気抵抗発熱材料の分野では世界的に有名な製品

サンドビック株式会社は2005年にカンタル株式会社と合併して以来、千葉県の佐倉工場でカンタル製品を扱っているメーカーです。カンタル製品は電気抵抗発熱材料の分野ではカンタル線として親しまれ、世界的に知られています。本社はスウェーデンですが、日本国内ではサンドビック株式会社 佐倉工場において輸入材料の一部加工、最終仕上げを行い、そして併設の倉庫部門では的確な在庫管理、迅速な出荷体制を敷いています。また、ここ佐倉工場では、重量物のパレットへの積み込みなど身体への負担がかかる作業があります。

### 従業員の身体を守る職場環境づくりのためマッスルスーツ®を導入

屈んで重量物を持ち上げるような力に頼る仕事で少しでも負担を軽減したい。また、これからの時代にあった職場環境を作りたいという思いから「腰補助用 マッスルスーツ®」を導入しました。導入当初から、初めて装着した作業員から「作業時の腰への負担が軽減した」という声があがり、マッスルスーツ®は導入から2,3ヶ月間で特に集中して使用されました。作業では、重量物をパレットへ積み込む際の重量物の持ち上げ時に効果を感じていました。

そのような中で作業員から「しゃがみ込みが思うように行かずにうまく使い切れていない」という意見が増えてきました。それ以来、特に重たい製品をパレットへ移し替える時のみ使用を限定するようになってしまいました。「現状の作業のままだとしゃがみ込みの作業時にマッスルスーツ®を



「電気抵抗発熱材の加工では、重量物を取り扱うため腰への負担が大きいです。今回、マッスルスーツ®の正しい装着方法をマスターしたので、特に大変な下方の棚への運搬でさらに活用できます。」

サンドビック株式会社 佐倉工場 H.T氏

フル活用できないように感じていました。(現場責任者 T.Y氏)」そのような頃にフォローアップで訪れたマッスルスーツ®の担当者が正しい装着方法を身に付けることでこの課題を解決できるのではないかと考え、現場の担当者と共に改善に努めました。

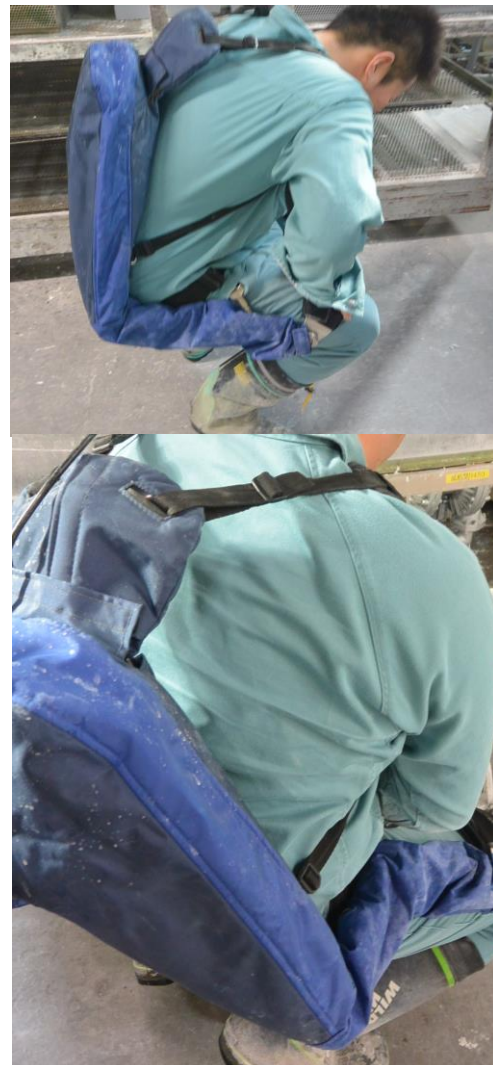
### 正しい装着が成功の秘訣

「作業時の腰の負担が軽減されることは装着し始めた当初から明確でしたが、担当する作業場では重量物をしゃがみこんで棚に置くような作業があります。その際にうまく使えずに悩んでいました。(スタッフ H.T氏)」実際に使用しているスタンドアロンタイプでは背負った際に背中と本体との間に握り拳1つ分を開けて使用するのが通常ですが、低い位置にしゃがみ込みたい場合はその間をさらに広く開けることでしゃがみやすくなります。このような小さなテクニックで大幅に使い勝手があがるケースがあります。

「装着方法を少し変更するだけでかがみ込めるようになり、正直とても驚きました。(スタッフ H.N氏)」佐倉工場では、マッスルスーツ®の活用シーンとして、重量物の仕掛品を棚に収める業務で使用しています。改善後は、これまで難しかったパレットから低い棚への運搬時に使用できるようになり、用途が広がりました。

### 作業負担を軽減し働きやすい職場を目指す

「作業負担を軽減し、今よりもさらに働きやすい職場を実現していきたいと考えています。その上でどのような作業がマッスルスーツ®に合っているかを、見極めていくつもりです。現場のレイアウトを変更しても恐らく手作業は残ってきます。そこでスタッフの身体を守り重作業のサポートをしてくれるマッスルスーツ®が活躍してくれることを期待しています。(現場責任者 T.Y氏)」



一番下の棚へ重量物を運搬する際、退パッドを外す必要があったが、しゃがみ込む際の正しい装着方法を習得し、しゃがみ込む姿勢ができることを確認している。



重量物をパレットから棚へ移し替える作業。腰の位置での作業では特にマッスルスーツ®の効果が発揮される。

基	本	情	報
使用モデル	スタンドアロン ソフトフィット		
導入時期	2017年3月		
台数	2台		
主な使用シーン	電気抵抗発熱材の加工工程での重量物のパレット間運搬など		
時間帯	日中(約2時間)		
使用人数	2名		
仕事環境	工場		

低い位置での作業では「○」の位置のように、背中と本体の間を更に広く開けることで、しゃがみ込む姿勢が取りやすくなる。



お問い合わせ  
株式会社イノフィス  
TEL: 03-5225-1083  
Email: support@innophys.jp  
Facebook: <https://www.facebook.com/innophys.jp/>  
詳しくは <https://innophys.jp/> をご覧ください。

生きている限り、自立した生活を実現したい

東京理科大学発ベンチャー  
～夢のようなロボットではなく、人のためのロボットを～

